

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.234

毎月1日発行

11月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



●日本に寄り添いボランティアの文化を!～NPO法人仙台敬老奉仕会の取り組み～

●多様性を認め合う社会を目指して 認定NPO法人Switch 高橋 由佳

●組織を自己評価し、それを客観評価する エクセレントNPO大賞

みやぎNPOプラザからのお知らせ

気軽に社会のことを話せる場を!「きっかけと仲間が見つかる 市民活動カフェ」

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



日本に

寄り添い ボランティアの文化を！

～NPO法人仙台敬老奉仕会の取り組み～

二〇〇六年に活動がスタートした仙台敬老奉仕会は、当時、宮城県成人病予防協会会長だった吉永馨会長が、加速する日本の高齢化社会にむけて、もっと欧米のように、介護施設などで、市民ボランティアの力が求められていくことを予想し、同じ想いを持つ仲間と隔月で研修会を始めました。研修会の参加者から、徐々に賛同者が増え、二〇〇八年にNPO法人化しました。

●●「寄り添いボランティア」の誕生●●

当時、介護施設のボランティア活動というと、歌や踊りなどを披露する慰問型か、施設内の清掃や洗濯物のたたみ方など、職員のお手伝いが主でした。資格のないボランティアが利用者と触れ合うことは、プライバシー保護の問題や怪我、感染などの心配があり、介護施設側では受け入れを躊躇していました。

「現在、日本で介護を必要とする高齢者は約六百万人と言われています。全国で特別養護老人ホームのベッド数は約六十万床。どこも常に満床で入所待ちは約五十二万人と言われています。どの施設も人手不足で、職員の負

◀寄り添いボランティアのみなさん



担も大きく、労働環境は決して良いとは言えません。食事・排泄・入浴介助が優先され、なかなか利用者の心に向き合う時間が取れないこともあり、利用者は孤独感を募らせてしまうこともあります」と吉永会長は話します。そこで、利用者の心のケアを、施設だけでなく家族だけでなく、地域のボランティアが支えていく必要があると始まったのが、仙台敬老奉仕会の「寄り添いボランティア」です。

仙台敬老奉仕会の「寄り添い」の特徴は、利用者との心のふれあいを重視した話し相手になることです。その時々利用者の気分にあわせて、一緒に歌を歌ったり、ゲームをしたり、散歩をすることもあります。ボランティアの心得

のひとつとして、「何かをする」と(Doing)よりも「そばにいること(Being)」を大切にしています。ずっとそばにいと、たとえ、その利用者が言葉を忘れてしまっても、通い合うものが出てくるからです。

認知症の特徴として、何度も同じ話をする傾向がありますが、懸命に耳を傾けていると、同じ話のなかにも、毎回すこし変化を感じることがあるとのこと。その変化に、利用者の心の状態が隠されていることもあります。

「認知症になっても感情は生きています。十人十色どころか、十人百色といってもいい。同じ人でもその日その日で表情も対応も違います。今日はこんな話をしよう、



▲Doingより Beingで

こんなゲームをしようと準備をしても役に立たないこともあります。が、その日その人の状態に寄り添うことを大切にしています」とボランティアメンバーの皆さんは話します。

●●●黄色いエプロンが目印●●●

ボランティアメンバーのユニフォームは、黄色いエプロン。同じ曜日同じ時間に同じ人が寄り添ってくれるという「環境を変えないこと」が、認知症の方の心を安定させるために効果的です。誰ということとは覚えていなくても、黄色いエプロンの人は、話し相手になってくれるということは記憶に残ります。

発足して三年目に、ひとつの特別養護老人ホームから手が上がり、現在では、十三の特別養護老人ホームなどで、約五十名のボランティアが活躍しています。

ボランティアメンバーの年齢層は、四十代から八十代と幅広く、退職後に活動を始められた方が主ですが、発足当時から関わっている方、隔月で開催されている研修会に参加したことやラジオで吉永会長の言葉に感銘を受けたことをきっかけに活動を始めた方、現役

で仕事を続けながら週末に活動している方、家族の介護をしながら活動している方などバックグラウンドは様々です。週に一回から二回活動している方が多く、なかには、週に八か所で活動している方もいます。長い方で八年も継続して活動しています。活動を続けられているのは、帰り際に告げられた一言「また来週来てね、待つて

るよ」という言葉に凝縮されていると、現役で仕事を続けながら週末に活動しているメンバーのひとり話します。「面白い話をして」と言われて、「上手く話そうと頑張つてうまくいかないこともあった。そんな時は、ボランティア仲間と相談し、共感してもらえたこ



▶優しく話しかけるボランティアメンバー

とで続けられています。多忙な仕事の中で忘れていたパーツを、ボランティアを通して埋めに行っているような気がします」

●●●活動先との関係を大切に●●●

活動先で働くスタッフとの関係を築いていくことも活動を継続していくためにとても重要です。

「施設スタッフの方々のご苦勞を間近で見ても、いかに大変な仕事かよくわかります。私たちが活動を続けていけるのは、施設スタッフの努力があつてこそ」とメンバーのひとり話します。施設スタッフと利用者との関係を尊重し、各施設のボランティア担当者や密に情報共有しながら活動を続けていくなかで、「利用者の生活を豊かにしてくれる存在であり、利用者にとって、社会との接点となっている」と施設側からの信頼も高まっています。

現在は、他の介護施設からもボランティア派遣の依頼があります。が、ボランティアの人数に限りがあり、現状では、活動先を増やすことが出来ないでいます。「もっとボランティアをしてくれる人を増やしたい。現在、活動している施設でも、もっと人数がいれば、

ひとりでも多くの利用者に寄り添うことができる」と、理事の岡本仁子さんは語ります。

仙台敬老奉仕会では、隔月の研修会のほか、実際、現場で活動するまでに、丁寧なオリエンテーションの時間を作っており、現場でも慣れるまでは、先輩のボランティアメンバーが新しいメンバーをサポートし、育成していく仕組みができています。ボランティアも随時、募集中です。

今年、仙台敬老奉仕会では創立十周年を迎え、着実に、「寄り添いボランティア」の文化を広げています。特別養護老人ホームは、利用者にとって人生最後の場所となることも多く、毎回会える時間を大切に、利用者の方がこれまでの人生を「生きていてよかった」「楽しい人生だった」と思えるように、心に寄り添い続けていきます。「また来てね、待つてよ」の声に支えられて、これからも「寄り添いボランティア」の文化を仙台から発信していきます。

NPO法人仙台敬老奉仕会

〒980-0801 仙台市青葉区木町通2丁目5-18
大熊ビル3階

●TEL&FAX : 022-725-7284

●E-mail : sendaikirou@yahoo.co.jp

●URL : <http://sendaikirou.web.fc2.com>

多様性を認め合う 社会を目指して

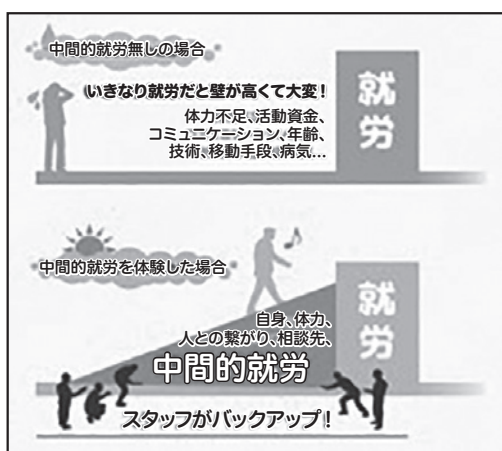
寄稿



認定NPO法人Switch
理事長

高橋 由佳

困難を抱える思春期・青年期の「はたらく」「まなぶ」をサポートするSwitchでは、こころの病を持つ方々の一般就労を目指す障害福祉サービス事業所スイッチ・センダイ、就労準備のための生活の安定を図るスイッチ・イシノマキ、地域のチカラを最大限に活かした就労支援としてユースサポートカレッジ仙台NOTE・石巻NOTEにおいて「有給職業体験プログラム・バイターン」と「中間就労支援」を行っております。



一人ひとりに寄り添って

バイターンとは、バイトとインターンの造語で、神奈川県田奈高校で現在、高校生力フェ「ぴっかりカフェ」を運営しているNP

法人パノラマの理事長・石井正宏さんが名付け親です。それぞれの力（カテゴリー）で、一人ひとりの強み（ストレングス）を活かした伴走型支援で、地域と連携し地域の人びとのチカラを最大限に発揮できるようにまた、それらが彼らにとってこころの支えになるよう私たちは、できるだけ黒子に徹した活動を行っております。なぜなら、支援者であるわたしたちは、彼らの人生の通過地点でしかなく、そこで生き抜いていく地域こそが生活の支えになり、また地域の人びとの共生社会を築くことが目標でもあります。有給職業体験プログラム・バイターンは、これまでも連携企業およそ四十社にご協力をいただきながら、年間五十回にも渡っており、まさに地域のチカラ



▶バイターン実習の様子



◀バイターン実習の様子

中間就労支援とは

を活かした取組みとして機能しております。

わたしたちの活動においては、障がい者の雇用において、職場も本人も円滑に働き続けることができるよう企業と本人のコーディネート、ネットワーク的な役割を担う存在として、「ジョブコーチ」による企業訪問を行っております。障がいを持つ方々の就労支援においては、現在様々な課題がありますが、その中でも特に職場定着率の低さが課題になっております。厚生労働省の施策によると、平成三十年より「定着支援事業所」を新設し、障がい者が働き続けることができるようフォローアップに重点を置いた支援体制を構築する予定であります

す。しかし「離職率」というキーワードでは、どの世代でも問われるテーマになっているのではないのでしょうか？例えば、宮城県では、高校卒業後の就職後の三年離職率は、全国的にもワーストに入るほどです。さらに、大学新卒者の三年離職率もよく話題になります。もちろん、転職が悪いわけでもなく、キャリアアップのための転職などは、どこにでも存在するものです。わたしたちは、この「なぜ？」に着目しながら、ジョブマッチングをどのようにしていけば、一人ひとりが自分の強みを見いだしながら、働き続けることができるようになるのだろうか？と模索しながらたどり着いたのが、有給職業体験プログラム・バイターンでもあり、中間就労支援でもあります。ご存知でしょうか？障がい者雇用の求人ほとんどは、非正規であり正社員の求人はほとんどありません。毎年、更新の時期になると、不安になり相談に来られることも多々あります。働き続けることができる保証がない労働条件のなかで、彼らは一生懸命働き続けています。しかし、先の見えないなかで不安を抱えながらも「はたらく」ことに真摯に向き合っている姿は、わたしたちも自らの働き

方を再考することを教えてくれているように感じております。

それらを踏まえ、昨年より始めた農業による中間就労支援の場である「イシノマキ・ファーム」ですが、被災者支援の一環でもあり、仮設住宅や、復興公営住宅およびそれに準ずる環境に居住中で、将来就労を考えているが、一歩を踏み出せないでいる方々が少しでもその一歩を踏み出すためのきっかけとなればとの思いも込めながら開始しました。

人は誰しも、社会の中で役割を求めています。「イシノマキ・ファーム」は一人ひとりが大事な役割を持って活動し、人と協力して生きていくために必要なコミュ



▶イシノマキ・ファーム

ニケーションや体力をつけて前に進んでいくための学びが体験できる場所でもあります。そして、「はたらくこと」や「まなぶこと」の意欲を取り戻し、支援へつなげることを目的としています。現在参加された方々の中には、ふたたび学校に通えるようになった方、震災以前の体力を取り戻した方、新たにお仕事に就く気力を取り戻した方、そしてここでの農業の経験を生かして農業法人に就職された方など、ここからだの元気を取り戻した方が出てきています。

●●●働く場の大切さ●●●

社会的弱者といわれる人びとが、就職活動に困難を感じており、そこには社会的排除の存在があることは否めないと考えてなりません。刑務所出所者、ホームレス、ひとり親家庭の母親、ひきこもりの若者、メンタルヘルス不調の方、長期失業者など多くの人びとが、仕事を求めています。彼らは、社会保障の制度の狭間で苦しんでいる人びともあり、伴走者であるサポーターの存在があればこそその支援が必要だと思っております。そこで、国の財源に頼らない就労支援の枠組みを構築するにはどうした

らいいのかと模索していたところに、出会ったのが「ソーシャルファーム」の概念です。ソーシャルファームは、就労が困難なすべてのひとが対象であり、対等の関係で働くこと、給与、労働条件なども一般就労者と同じ基準であること、そして、市場で利潤を上げ、再投資するビジネスモデルとしていくことで、す。もともと、ソーシャルファームは、一九七〇年代に北イタリアのトリエステ精神病院で、脱精神病院を目指した患者さんたちが、地域に働く場を求めていましたが、治療を続けながら働くということに対する地域のスティグマから、働くことができずにおり、そこで自分たちで仕事を作ろうと立ち上がったのが始まりです。わたしたちは、これらの概念に基づき、新たな「働く場」の提供をするために、これまで活動してきた農業の中間就労支援「イシノマキ・ファーム」を一般社団法人化し、ソーシャルファームとしてのチャレンジに挑んでおります。

認定NPO法人Switch

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1丁目6-3
東口鳳月ビル6階
●TEL : 022-762-5851
●E-mail : info@npo-switch.org
●URL : http://www.switch-sendai.org/

組織を自己評価し、それを客観評価する

エクセレントNPO大賞

今や、NPO法人の設立数は全国で五万一千団体、一般社団法人は五万団体を超えている今、「数は増えたものの、社会を大きく変える力にはまだなっていない」と述べている『エクセレントNPO』をめざそう市民会議（以下「市民会議」）は、アメリカの経営学者だったドラッカーの思想をもとに望ましい非営利組織像としての「エクセレントNPO」の概念を打ち出し、「市民性」「課題解決力」「組織安定性」の三つを基本条件とする「エクセレントNPO」の評価基準の普及活動に取り組んできました。平成二十四年から「エクセレントNPO大賞」を公募により表彰し、今年は第四回目の審査です。市民会議のホームページには、理事である田中弥生さんが「エクセレントNPO」についてメッセージを出していますので以下、抜粋して掲載します。



▲田中弥生さん

●●なぜ「エクセレントNPO」なのか●●

私たちはNPOに対してある種の危機感を持っていました。それは、いま、より多くの人たち、さまざまな層の方々が、広域的な活

動、社会貢献の活動に参加したいと思っているなか、その受け皿にいまのNPOセクターはなっていないのではないかと、というものです。その原因は、NPOが大きく三つの課題を抱えているからだと考えました。

その一つが、活動を維持するための組織が安定していないということです。それから、社会変革の担い手になりたいという願望を持つているのですが、そのための計画立案や組織の体制が整っていないこと。そして、私たちが一番懸念したのは、市民参加の受け皿になるべきこの非営利組織が、市民との距離を開いてしまっていることです。それは、自分たちで参加の受け皿である寄付やボランティアを集めなくなっているというところもあるのですが、同時に、社会的な信用を失墜させてしまうような事態がNPOの間でいくつかが散見されていることです。それは「NPOは法人数が急増する中で、その設立者、設立目的や活動形態の多様化が進んでいるが、一方で、目指すべき非営利組織像が見えなくなり、何が正しいのか、何が誤っているのかその芯となるものが揺らいでいるのではないか」という問題意識です。

そこで、私たちはもう一度原点に立ち返り、望ましい非営利の姿を明らかにし、非営利組織がそれを目指して切磋琢磨しあう環境を、市民社会の中に作るうと考えました。そのために私たちは民間非営利組織論の基本を参照しながら、NPOセクターの現状分析から導かれた課題をもとに、「望ましいNPO像」を考えました。そうして到達したのが、次の「エクセレントNPO」の定義なのです。

「エクセレントNPO」とは、次のような条件を満たす非営利組織を指します。

「自らの使命のもとに、社会の課題に挑み、広く市民の参加を得て、課題の解決に向けて成果を出している。そのために必要な、責任ある活動母体として一定の組織的安定性と刷新性を維持している。」

●●三つの基本条件●●

「エクセレントNPO」の基本条件は、日本の非営利セクターが抱える三つの課題から導かれています。

第一課題…NPOと市民とのつながりが希薄になっている。

第二課題…NPOやNGOに求められた課題の解決力に疑問がある。

第三課題…活動や組織を持続可能

なものにどう築いてゆくか。

第一の基本条件は「市民性」

「市民性」とは、非営利組織の活動が広く市民に対して参加の機会を提供することをさします。より具体的にいえば、寄付やボランティアといった様々な形態での組織への参加の募集を市民にわかりやすい形で公開し、かつ、参加してくれている寄付者やボランティアを団体の参加者としてきちんと意識した上で、彼らをマネジメントしていくということなのです。これは、多くの非営利組織が主な収入を行政委託や収益活動に傾斜して寄付や会費を集める努力を怠っており、また、ボランティアを集めていない組織が相当数存在していることなど、非営利組織と市民とのつながりが希薄になっているという課題に対応している基本条件です。

第二の基本条件は「社会変革性」

「社会変革性」とは、社会的な課題に対して、その原因を視野に入れた解決策を提案し、実行することによって、その効果が広く社会に普及してゆき、その結果、人々の生活の質や行動様式が大きく変化していくことをさします。これは、長期間その事業や活動に変更がない組織が多く、また中長期の

視点を欠いている組織が多いなど、組織の課題解決力に疑問がある、という課題に対応しています。社会的なサービスを提供する活動に加え、政策提言活動の提言は、政治や行政機関のみを対象に行うのではなく、広く多くの市民から支持されていることが重要です。

第三の基本条件は「組織安定性」

「組織安定性」とは、組織の使命、目的を達成するため一定の持続性をもって活動し、一定の活動内容、方法に安住することなく、対象や社会環境の変化を見据えて、不断の見直しをして、創意工夫や課題発見力を発揮して、活動や組織を刷新していくことをさします。つまり、組織がその持続性だけでなく刷新力をも有しているということをもって、組織安定性があるということができるのです。これは、不安定な財政状態をいかに克服するのか、資金調達や活動における規律や倫理性が不足していないか、活動や組織を持続可能なものにどう築いていくか、という課題に対応している基本条件です。

●●● READYFOR? にチャレンジ ●●●

第四回となる二〇一六年度の「エクセレントNPO大賞」の選考か

ら、評価基準を改定し、市民からの共感性の視点を取り入れ、多くの方が審査に参加するために審査の過程にクラウド・ファンディングを取り入れました。宮城県からは、二団体がエントリーしています。



■NPO法人にじいるクレヨン

『ストレスを抱える石巻市子どもたちへ！遊べる居場所を作りたい』

●URL : <https://readyfor.jp/projects/nijiirou>

宮城県石巻市を中心に、被災した子ども達が自分を開放して気兼ねなく遊ぶことが出来る居場所を作り続けていきたい！ボランティアスタッフの方々に支えられて宮城県石巻市を中心に年間三十六回程度の活動を継続してきました。今回は、宮城県石巻市及び東松島市の三カ所の仮設住宅の集会場等を活用し活動していく予定ですが、そのための活動費用が不足しています。被災した子どもや住民の心に寄り添いながら、遊びやアートを通したのびのびと自己表現できる環境を作っていくため、活動費用のご支援を頂けないでしょうか。



■認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

『創刊二十周年！NPOを応援する市民活動情報誌を継続発行したい』

●URL : <https://readyfor.jp/projects/yururu>

今回は、情報誌を発行するにあたり、自助努力で捻出されずどうしても資金不足になってきた発行経費を得て、来年五月に迎える創刊二十周年号まで継続発行したい！また、二十周年を迎えるにあたり、皆さんから情報誌発行に対しての「これまで」の声と、このまま継続的に発行するための「これから」の声をお聞きしたい！というためにチャレンジしています。

「エクセレントNPO」を目指そう市民会議

●URL : <http://www.excellent-npo.net/index.php/ja/>

気軽に
社会のことを
話せる場を!

きっかけと仲間が見つかる 市民活動カフェ

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

日々、会社のため、生活のため、自分のためにだけに働くのではなく、社会のために何かがしたい!そう考える人にとって、その想いを形にするための方法が分からないと戸惑ってしまうかもしれません。

そのようなポジティブなやる気を市民活動という場で活かしてもらおうと、今年十月、みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)で「きっかけと仲間が見つかる 市民活動カフェ」を開催しました。

他人ごとではなく自分ごとに

プラザには、市民が自主的に地域の課題に取り組む市民活動への理解を進め、新たな担い手の裾野を広げる、という役割もあります。今回は、その一環として、市民活動カフェを開催しました。

カフェの趣旨は、まだ市民活動とは何かをよく知らない参加者に、「市民活動とはこういうものだ」ということをわかってもらい、一人ひとりの参加者が身の回りにある社会課題を自分ごととして捉えることを目指すことにあります。

他人に「話す」ことから始まる

まず、プラザのスタッフから「市

民活動とは、社会課題を解決するために市民が活動しながら社会のあり方を変えていこうとすることである」と話し、具体的に活動事例をあげ、どう市民活動に関わっていくのかを伝えました。

そして実際の市民活動団体を知ってもらおうと、ゲストに子育て支援を中心に活動するNPO法人アミューズおひさま代表理事の平塚香代子さんをお招きしました。平塚さんは、これから市民活動に関わっていこうと考えている参加者へ向けて、とくに想いを形にしていく団体設立当初の経緯を中心に話しました。

平塚さんの場合、地域課題に気



▶自身が気になる社会課題について意見交換

づいてから実際に行動を起こすまでの期間はわずかに一か月。「気になっていることを周囲に話していたら仲間がで、活動が始まっていた」とのことでした。

後半のワークショップでは、参加者自身が地域や社会に対して『モヤモヤ』していること、こんな風に社会が変わったらいいのにと思うことをかき出しました。

その際、一人で考えるだけではなく、同じ参加者に向けて自分の考えを話してみる、ということを試みました。

他人に話し、フィードバックをもらう。また、他人が気になっている課題意識を共有したことで、「他人に話をする事で夢が広がっていくように感じた」「一人では気づきにくい意見を教えてもらえた」と、参加者たちの気づきに繋がりました。

プラザでは、来年二月にも市民活動カフェを予定しています。「社会のために何かしたい」という想いを少しでも多くの人が市民活動のフィールドで活かしてもらえよう企画しますので、ご期待ください!

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

NPOのためのマイナンバー制度と
労務管理講座&雇用なんでも相談

11/18(金) 13:30~17:00

NPOのための会計・税務相談

11/25(金) 13:00~17:00

めざせ!数字で信頼されるNPO!
決算書の読み方・活かし方

12/9(金) 13:30~16:30

基礎から学ぶ!NPO法人設立講座

12/16(金) 14:00~16:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

平成28年度 公益信託オオバまちづくり基金

- 助成対象：宮城県内のまちづくりのための地域コミュニティ形成、活性化に資する実践活動、街並みや環境の形成、整備等に資する活動、調査研究や啓蒙活動。
※東日本大震災からの復興に資する活動は積極的に取り組む方針です。
- 対象団体：宮城県内におけるまちづくりに関する活動を行う個人または団体
- 助成金額：総額500万円(10件程度)
- 応募締切：11月30日(水)当日消印有効
- 連絡先：三井住友信託銀行 リテール受託業務部
公益信託グループ
(公益信託オオバまちづくり基金申請口)
TEL：03-5232-8910
URL：<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

公益財団法人日母おぎゃー献金基金 施設助成金、什器・備品等助成金

【施設助成金】

- 助成対象：入所または通所児童のために必要とする建物等の施設整備費や備品等の購入費用
- 助成金額：上限500万円(その年度の献金収入額によっては増減する可能性有)

【什器・備品等助成金】

- 助成対象：入所または通所児童のために必要とする什器・備品等の購入費用
- 助成金額：上限50万円(その年度の献金収入額によっては増減する可能性有)

【共通事項】

- 対象施設：18歳未満の児童が入所または通所している施設(例：重症心身障害施設、心身障害児通園事業関係施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、肢体不自由児施設、肢体不自由児療養・通園施設等)※詳細は、下記URL参照。
※ただし、同じ年度内に施設助成金の交付を受けた団体は、什器・備品等助成金の対象外。
申込みについては、まず施設所在地の都道府県産婦人科医会に問い合わせること。
- 応募締切：11月30日(水)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人日母おぎゃー献金基金事務局
TEL：03-3269-4787
URL：<http://www.ogyaa.or.jp/subsidy/>

公益財団法人ヤマト福祉財団 平成29年度福祉助成金募集 障がい者給料増額支援助成金・障がい者福祉助成金

【障がい者給料増額支援助成金】

1. ジャンプアップ助成金

- 助成対象：すでに障がい者の給料増額に一定の実績がある施設・事業所が、さらに多くの給料を支払うための事業(総事業費600万円以上の事業対象)。
2018(平成30)年2月末日までに完了する事業。
- 助成金額：1件あたり定額500万円(10件程度)

2. ステップアップ助成金

- 助成対象：障がい者の給料増額に努力し、全国平均以上の給料支給実績がある施設・事業所がさらに多くの給料を支払うための効果的な事業、設備の導入など。
2018(平成30)年2月末日までに完了する事業。
- 助成金額：1件あたり上限200万円(20件程度)

【障がい者福祉助成金】

- 助成対象：2018(平成30)年2月15日までに完了する会議、講演会、研修、出版、啓発、調査、研究、スポーツ、文化の事業等。
- 助成金額：1件あたり上限100万円(助成総額500万円)

【共通事項】

- 応募締切：11月30日(水)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局
TEL：03-3248-0691
URL：<https://www.yamato-fukushi.jp/>

セブン-イレブン記念財団 2017年度 環境市民活動助成

- 助成対象：①活動助成：環境市民活動に必要な経費を支援。
②NPO基盤強化助成：団体の財政基盤を強化し、活動を継続することができる自主事業の構築・確立を目指すもの。
③緑化植花助成：緑と花咲く街並みをつくる活動。
④清掃助成：ごみのない環境をつくる活動。
- 対象団体：①NPO法人、一般社団法人、任意団体
②「環境の保全を図る活動」を活動分野とし認証され3年以上の活動実績があるNPO法人
③・④環境市民団体
- 助成金額：①1団体あたり上限200万円(任意団体は上限50万円)
②1団体あたり上限400万円
③1団体あたり上限40万円
④1団体あたり上限20万円
- 応募締切：12月10日(土)当日消印有効
- 連絡先：一般財団法人セブン-イレブン記念財団
TEL：03-6238-3872
URL：<http://www.7midori.org>

社会貢献活動支援のための助成

【一般助成：子どもの健全育成支援】

- 助成対象：概ね18歳以下の子どもを対象とする、情操発達支援、体力向上、療育支援等。

【特別助成：災害復興支援(熊本地震・東日本大震災)】

- 助成対象：地域の人々と共に取り組むコミュニティの復興・再生・活性化(詳細は下記URL参照)。

【共通事項】

- 対象団体：民間の非営利組織(法人格の有無、種類不問)
- 助成金額：1件あたり上限300万円
- 応募締切：12月16日(金)17:00必着
- 連絡先：全日本社会貢献団体機構 事務局
TEL：03-5227-1047
URL：<http://www.ajosc.org/subsidy/>

- その他：11月18日(金)10:30～11:30仙台市福祉プラザ第1研修室で、ぱるけ職員向けの同様の報告会を行います。11月26日都合が悪い方は、18日の参加も相談に応じます。ご希望の方は、事務局までお問合せください。
- 申込方法：参加者氏名、所属(職員(団体・施設名)、学生(学校名、学年)、その他)、連絡先(TEL・E-mail)を記入の上、FAX・E-mail、郵送にて申込み。
- 申込締切：11月21日(月)
- 主催：NPO法人アフタースクールぱるけ
- 連絡先：TEL：022-778-8666 FAX：022-707-0057
E-mail：npo-paruke@paruke.com
URL：http://paruke.com/

11/29 平成28年度 おしゃべりサロン ふわり・ラルクママ11月開催

日常からちょっと抜け出して、お茶を飲みながらおしゃべりしませんか？ 分かり合える仲間と出会い、気兼ねなく情報交換しましょう。他では話せないことも、ここなら大丈夫。どうぞご参加ください。

- 日時：11月29日(火) 13:00～16:00 ラルクママ
12月9日(金) 10:00～12:00
ふわり/テーマ「おこづかいの設定」
12月13日(火) 13:00～16:00 ラルクママ
- 場所：仙台市シルバーセンター 和室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 対象：ふわり：主に幼児期から中高生のくらいまでの保護者
ラルクママ：主に中高生から成人期の保護者
(詳細は、お問合せください)
- 参加費：みやぎ発達障害サポートネット正会員 無料
正会員以外の方 1回1,000円
- 申込方法：下記連絡先に申込み
- 主催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連絡先：〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-4-1
TEL：022-265-5581 平日：9:00～18:00
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp
URL：http://mddsnet.jp

12/7 花あそび空間～フラワーセラピー教室～

自由な発想で花を楽しむフラワーセラピー教室です。クリスマス・お正月にMy作品で玄関や居間を華やかに飾りませんか？この度、寄贈いただいた花や花器を一部使って格安な作品キットをご用意しています。(予算・好みで選んでいただきます)

- 日時：①12月7日(水) 10:00～12:00 クリスマス飾り
②12月17日(土) 13:00～15:00 お正月飾り

- 場所：両日とも、みやぎNPOプラザ 研修室
- 定員：各日15名
- 参加費：1,000円～3,000円(花材費として)
- 申込方法：下記連絡先まで事前申込み
- 主催：NPO法人フラワーセラピー研究会 仙台地区
- 連絡先：担当：上野
TEL：022-274-0961
携帯電話：090-9428-4342

12/16 高齢者のための「ブログ入門講座」

.....
ブログで情報発信をしてみたい方！ブログづくりの基本知識と、その作り方を学びませんか。

- 日時：12月16日(金)～12月18日(日)
10:00～13:00 全3日間
- 場所：仙台市台原老人福祉センター 2階
(仙台市青葉区台原森林公園1-3)
- 内容：①Yahoo!Japan でブログをつくります。
②新規投稿、写真掲載、動画掲載の体験
③自分のブログを見る
④記事や写真の修正
⑤カメラと撮影の基本
- 対象：60歳以上
- 定員：10名(先着順)
- 参加費：3,500円(テキスト付)
- 申込方法：下記連絡先まで氏名、連絡先をお知らせください。
- 申込締切：12月1日(木) ※定員になり次第締切
- 主催：NPO法人仙台シニアネットワーク
- 連絡先：〒980-0821 仙台市青葉区春日町6-1-213
TEL：022-395-7921(平日9:30～16:30)
URL：http://www.sendai-snc.net/

12/17 認定NPO法人ミューズの夢 クリスマス発表会

.....
ミューズの夢では、ハンディを持つ子どもたちが楽しみながら音楽や芸術に触れています。今回、1年間の成果を発表する場を設けました。この機会に、ぜひお越しください！

- 日時：12月17日(土) 10:30開演
- 場所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主催：認定NPO法人ミューズの夢
- 連絡先：TEL/FAX：022-267-9540
E-mail：info@musenoyume.jp
URL：http://musenoyume.jp/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載は無料です！
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

11/19 男女共同参画推進せんだいフォーラム2016 トーク&カフェ 市民の声を政治に届けよう! Part2～「女性の生きづらさ」を5人の女性 市議と考える～

私たちの日常は、政治と大きく関わっています。そこで、今回は下記の5つのテーマに絞り、5人の女性市議と共に語り合い、意見交換する場を企画しました。仙台市の現状を知り、日頃、感じていること・気になっていることなど、あなたの思いを、直接、届けてみませんか?どうぞ、ご参加ください。

- 日 時：11月19日(土) 15:00～17:00
- 場 所：エル・パーク仙台 5階セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1(仙台三越定禅寺通り館)5階)
- 内 容：5つのテーマ(①保育所、②非正規雇用、③ハラスメント、④ダブルケア、⑤ジェンダー)
★参加の市議会議員
岡本あき子氏(民進党)、小田島久美子氏(公明党)、樋口典子氏(社民党)、ふるくぼ和子氏(共産党)、やしる美香氏(自由民主党)
- 定 員：40名(要申込み)
- 参 加 費：500円
- 託児申込：対象：6ヶ月以上、小学校1年生まで
(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてでもご相談ください)
利用料：300円(子ども1人1回)
締切：11/10(先着順、定員になり次第締切)
託児申込先：エル・パーク仙台 管理事業課
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
- 申込方法：下記L(エル)ネットの連絡先へTEL・FAX・E-mailで申込み。
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画・実施：L(エル)ネット
- 連 絡 先：L(エル)ネット
TEL：090-5180-5241 FAX：022-379-4725
E-mail：lnet5piece@gmail.com
URL：http://lnet.jimdo.com/

11/20 男女共同参画推進フォーラム2016 映画とトーク「飯舘村の母ちゃんたち 土とともに」

原発事故から5年、全村避難となった飯舘村で暮らす母ちゃんたちのへこたれない愛しき友情ストーリー。いまだから見えてくると。何が損なわれたのか?どうやって取り戻すのか?ぜひ、この機会にお越しください。

- 日 時：11月20日(日) 13:30～16:30
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1(仙台三越定禅寺通り館)6階)
- 参 加 費：800円(全席自由)
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画・運営：NPO法人イコールネット仙台
- 連 絡 先：TEL：090-1398-5065(佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

11/20 3.11定点撮影プロジェクト みつづける、あの日からの風景

3.11から5年の節目を経て、復興工事によりまちが大きく変貌を遂げ、生活の痕跡の消失が、2度目のふるさとの喪失をもたらしているかもしれません。「震災の風化」が現実味を帯びるいま、震災直後から、まちはどのように形を変えながら復旧・復興の道を歩んできたのか。その変化を定点撮影によって未来に残します。

- 日 時：11月20日(日)～1月8日(日) 9:00～22:00
※11月24日(木)、年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))は休館
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階ラウンジ
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参 加 費：無料(申込み不要)
- 主 催：3.11オモイデアーカイブ(3.11定点撮影プロジェクト)、3がつ11にちをわすれないためにセンター(せんだいメディアテーク)
- 連 絡 先：3がつ11にちをわすれないためにセンター
TEL：022-713-4483
E-mail：wasuren@smt.city.sendai.jp
URL：http://recorder311.smt.jp/
3.11オモイデアーカイブ
TEL：022-295-9568
URL：https://www.facebook.com/sendai3.11omoide/

11/24 行事食を味わう～行事にまつわる食とミニ講座～ 11月「冬至の会」

四季折々にある節句や記念日、そしてお祭り。日本では、いにしえより自然の恵みに感謝し、家族の成長や健康を願い、食と共に祈って参りました。おりざの家では、日本の伝統行事を見直し、そこに伝わる心を学び、食をいただく講座を企画しました。

- 日 時：11月24日(木)、11月25日(金)、11月26日(土)
各日11:30～13:30
- 場 所：NPO法人おりざの家(仙台市太白区長町1-12-14)
- 定 員：各日12名(要予約)
- 参 加 費：1,500円(お食事・お飲み物・デザート付き)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み。
- 主 催：NPO法人おりざの家
- 連 絡 先：〒982-0011 仙台市太白区長町1-12-14
TEL/FAX：022-249-1625
URL：http://oriza1.jimdo.com/

11/26 あみーごクラブ活動報告会 &SIBSHOPS研修INシアトル報告会

「あみーごクラブ」は、ばるけを利用している子どもたちのきょうだいを対象に、一緒に楽しい時間を過ごしながらかつ仲間作りを行なうクラブです。そのあみーごクラブの活動報告と、今年4月にシアトルで行われた、きょうだい支援プログラム「Sibshops」の研修報告も合わせて行います。

- 日 時：11月26日(土) 10:00～11:30(9:30～受付)
- 場 所：仙台市福祉プラザ10階 第2研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対 象：きょうだい支援に関心のある方、きょうだい
- 定 員：50名
- 参 加 費：500円(一般)、100円(学生)、300円(活動報告集「あみーごの10年」お買い上げの方)

11/15 GO UP みやぎ 金華山復興支援 宝島プロジェクトシンポジウム第5弾～自然との対話～

東日本大震災を経て、私たちは自然から何を学んだのでしょうか？復興において自然との関わりはどのようにあるべきでしょうか？山や自然を活動の場とし精通している各分野の方にお集まりいただき、その視線の先にあるものをお話いただきます。

- 日 時：11月15日(火) 18:30～21:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参加費：無料
- 主 催：NPO法人FIRST ASCENT JAPAN.
- 連絡先：TEL：080-5578-2978(むらかみ)
URL：http://first-ascent.org/

11/17 本人・若年期認知症の方の集い

本人・若年期認知症の方を中心に楽しんでいただける企画を用意した集いを行っております。※見学自由・若年期以外の認知症の方も可能です。ご相談ください。

- 日 時：11月17日(木) 10:30～15:00
※毎月第1・第3木曜日開催
(11/3は祝日のため、休み)
- 場 所：仙台市泉区南光台市民センター
(仙台市泉区南光台7-1-30)
- 参加費：無料 ※昼食代500円程度
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み。
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連絡先：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
(宮城県社会福祉会館2階)
TEL/FAX：022-263-5091
URL：http://www.miyagisibu-alz.org/

11/17 セミナー「傾聴とセルフケア」

東日本大震災から5年が経ち、被災者支援を続けている方たちの疲労度も高まり、支援する側・される側も、余裕がなくなっているように思われます。このような時期を乗り切るために「傾聴」と「セルフケア」について学ぶセミナーを実施します。

- 日 時：両日とも13:30～15:30
①11月17日(木)②12月17日(土)
- 場 所：①仙台法務局名取出張所2階 会議室
(名取市増田柳田570-2)
②日立システムズホール仙台 研修室2
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5:仙台市青年文化センター)
- 申込方法：下記連絡先まで事前申込み
- 主 催：NPO法人チャイルドラインみやぎ
- 連絡先：〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
スカイハイツ102
TEL/FAX：022-279-7210
E-mail：c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp

11/19 男女共同参画推進せんだいフォーラム2016 シンポジウム「女性が活躍するために～現状と展望」

女性活躍推進法が制定され、一億総活躍社会が政治主導で唱えられている昨今、女性が働く環境は変わったでしょうか。活躍の場は広がったのでしょうか。北京JAC仙台は、女性の置かれている現状について語り合う場を設けました。

- 日 時：11月19日(土) 13:30～15:30
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナー室(仙台市青葉区一番町4-11-1(仙台三越定禅寺通り館)5階)
- テ マ：「政治と女性」、「保育所と待機児童」、「就労と女性」
- 参加費：無料
- 託児申込：対象：6ヶ月以上、小学校1年生まで
(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてでもご相談ください)
利用料：300円(子ども1人1回)
締切：11/10(先着順、定員になり次第締切)
託児申込先：エル・パーク仙台 管理事業課
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画・実施：北京JAC仙台
- 連絡先：北京JAC仙台(三橋)
TEL/FAX：022-229-0018

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県等所轄において、2016年9月11日～10月10日までにNPO法人の設立を新しく申請した団体はありません。

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分9月11日～10月10日 仙台市所轄分9月11日～10月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 みさとスマイル ケアネットワーク	美里町	この法人は、美里町における住民、とりわけ高齢者や障害者並びに災害等による被災者に対して、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるために必要な生活支援サービス事業等を行う。	9/21
仙台市 日本病巣疾患研究会	若林区	研究発表会、研修会及び講演会の開催 機関紙、論文、図書等の刊行を含む情報発信 内外の学術団体等との連絡及び提携 他	10/5

宮城県のNPO法人数

808団体

●宮城県等所轄：393団体 ●仙台市所轄：415団体

※2016年10月10日現在

【やまもとのアート展「ふっ・こう・ふく」】

- 期 間：11月15日(火)～12月11日(日)
期間中の火・木・土・日曜日10:00～15:00
- 場 所：ポラリス&『こう・ふく』アトリエ
(巨理郡山元町高瀬字合戦原72-64)
- 企画・運営：NPO法人ポラリス
- 連絡先：担当：刈田、田口
TEL：0223-36-7410
E-mail：activities_polaris@yahoo.co.jp

【いしのまきのアート展「コラボノカタチ」】

- 期 間：11月19日(土)～12月25日(日)
期間中の土・日曜日、祝日11:00～17:00
- 場 所：ペンギンズギャラリー(石巻市立町2-6-25)
- 企画・運営：ペンギンズアート工房
- 連絡先：担当：宮川 TEL：090-5185-3936
E-mail：ichigo_50ichie@yahoo.co.jp

【共通事項】

- 主 催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
- 連絡先：東北事務局 TEL：070-5328-4208
E-mail：soup@ableart.org
URL：http://www.ableart.org/

11/12 ホントの国際語って「ようこそ、エスペラントへ」

国や民族の違いにかかわらず、人と人とが対等の立場で交流することのできる国際共通語エスペラントをご存じですか？エスペラントはとてもやさしい言葉です。私たちがエスペラントを使って行っている、様々な国際交流の様子をご紹介します。お誘いあわせの上おでかけください。

- 日 時：11月12日(土) 13:30～15:30
- 場 所：仙台市民活動サポートセンター 4階
研修室5(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：エスペラント語って？どう使う？どう学ぶ？話してみよう、聞いてみよう。いろいろな本や雑誌、質問コーナー など
- 説 明：仙台エスペラント会会員
- 参加費：無料
- 主 催：仙台エスペラント会
- 連絡先：担当：手塚
TEL/FAX：022-389-1620
E-mail：esperanto@goo.jp
URL：http://sendaiesperantokai.jimdo.com/

11/12 みんなで話し合いを体験！ 2016きょうDo!のまちづくり文化祭

「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」は、全国でも大崎市にしかない条例です。「話し合い」を大切に、地域の課題解決やこれからの地域づくりに取り入れていきましょう。

- 日 時：11月12日(土) 10:00～15:00
- 場 所：鳴子公民館 2階ホール
(大崎市鳴子温泉字鷺ノ巣85-4)
- 内 容：【第1部 10:00～12:15】
中学校・高校・各地域自治組織のステージ発表、パネル展示
【休憩 12:15～13:00】
【第2部 13:00～15:00】
テーマ「10年後の鳴子をみんなで考えよう」
- 対 象：中学生以上

- 定 員：100名(先着順)
- 参加費：無料(話を聴く“ちから”)
- 申込方法：下記連絡先まで申込み
- 主 催：大崎市
- 企画・実施：NPO法人おおさき地域創造研究会
- 連絡先：大崎市市民協働推進部まちづくり推進課
TEL：0229-23-5069
NPO法人おおさき地域創造研究会
TEL：0229-25-9956

11/12 国分町駆け込み寺 出張相談会in石巻市

国分町駆け込み寺は、暮らしの中の悩みごとやトラブルの解決支援団体です。家庭での困りごと、職場・学校での困りごと、誰にも言えない悩みなど、その問題の解決・改善、心の痛み軽減のため、できる限りサポートします。

- 日 時：両日とも12:00～17:00
①11月12日(土) ②12月10日(土)
- 場 所：石巻市NPO支援オフィス 小会議室スペース
(石巻市泉町3-1-63)
- 定 員：4名
- 相談費：無料
- 相談員：中島 一茂氏(国分町駆け込み寺 支部長)
- 申込方法：下記連絡先まで、事前申込み
※予約なしでもご利用できますが、別の面談中である場合、終了までお待ちいただきます。
- 主 催：国分町駆け込み寺(公益社団法人日本駆け込み寺 仙台支部)
- 連絡先：TEL：022-395-7740 FAX：022-395-7742
E-mail：kokubunchou@nippon-kakekomidera.jp
URL：http://www.kokubunchokakekomidera.com/

11/13 大切な人を亡くした方のわかちあいの会 …大切な人を亡くしたとき…

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆石巻会場：11月13日(日)、12月10日(土)
11/13：14:00～16:30 12/10：13:30開始
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- ◆仙台会場：11月19日(土)、12月17日(土)
各日14:00～16:30【毎月 第3土曜日】
場所：あしなが育英会
仙台レインボーハウス(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- ◆気仙沼会場：12月24日(土)
各日13:30～16:00【偶数月 第4土曜日】
場所：気仙沼市民健康管理センター
「すこやか」(気仙沼市東新城2-2-1)
- 対 象：大切な方をなくされた方、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費：無料
- 申込方法：事前の申込みは、必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡頂けると助かります。下記連絡先にTEL・E-mailでお申込み下さい。
- 主 催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5みやぎ
NPOプラザ内事務ブース
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

●連絡先：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
(担当：清野、田中、小野寺)
〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737
URL：http://www.clc-japan.com/

事業案内

学習支援付き「多賀城こども食堂」参加者募集

安心して利用できる場所です。問合せ・見学大歓迎です！

- 活動日時：毎週金曜日 小学生17:00～19:00
中高生18:00～20:00頃
- 活動場所：みやぎ生協多賀城店 集会室
(多賀城市中央3-11-12)
- 対象：以下のいずれかに該当する小学生から高校生までのお子様と保護者(生活保護、児童扶養手当、就学援助を受けている世帯等)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 募集主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：担当：下總
TEL：070-5325-3817
E-mail：info@asuiku.org

HELPみやぎ！—生活困窮者ほっとライン— こんなことでこまっていますか？せいかつに。 借金に。病気に。住む部屋がない…など

NPO法人仙台夜まわりグループは、2000年1月から仙台市内で路上生活者支援活動を開始しました。2013年より、路上生活者のみならず、生活困窮者全般を対象とした相談業務に当たっています。この間、1,000名を超える方々からの相談に対応し、7割以上の方々が問題を解決することができました。このたび、相談業務4年目を迎える2016年10月1日から、装いも新たに、電話相談業務をリスタートすることになりました。

- 実施日時：年中無休 8:00～21:30
- 電話番号：050-5539-6789
- 相談形式：原則として電話相談。
必要に応じて、当法人事務所、みやぎNPOプラザ等で対面相談。
- 実施団体：NPO法人仙台夜まわりグループ
- 連絡先：〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-10-12
TEL/FAX：022-783-3123
URL：http://www.yomawari.net/

イベント

11/1 第9回 石巻に恋しちゃった♡ 2016.11.1-12.11

今回のテーマは「地元愛」。「石巻」を愛する連人が「地元愛」を存分に発揮する41日間です。「味覚の秋」に相応しく、牡蠣、カニ、鮭、いくらが勢ぞろい！の長面浦でのスペシャル体験。東日本大震災で甚大な被害を受けた国の伝統工芸品、雄勝硯(すずり)の600余年の伝統が味わえる雄勝石クラフト製品づくりなど盛りだくさんのプログラム。今回も是非、石巻の人と地域の魅力に恋しちゃってください♡

- 日時：11月1日(火)～12月11日(日)
- 場所：石巻・女川・東松島の各所
- 内容：詳細は下記公式サイトをご覧ください。
- 対象：どなたでも
- 定員：各プログラムごとに定員あり
- 参加費：各プログラムごとに設定
- 申込方法：下記いずれかの方法でご予約ください(プログラムごとの予約となります。事前にご参加されるプログラムをお選びください)
①公式サイト(http://ishikoi.com)内「予約方法」より予約画面へ
②下記連絡先へTEL(平日10:00～17:00)
- 主催：石巻に恋しちゃった♡実行委員会
- 連絡先：事務局(NPO法人石巻復興支援ネットワーク内)
TEL：0225-23-8588
E-mail：ishikoi@yappesu.jp
URL：http://ishikoi.com

11/5 めぐるみやぎのアート展 SOUPのホップ・ステップ・ジャンプ

私たちSOUP(障害者芸術活動支援センター@宮城)は、障害のある人たちの芸術文化活動を新しい視点からご覧いただく機会をつくろうと、2014年度から活動をスタートしました。コンセプトは「まぜると世界がかわる」。今回はこれまで3年間の活動の集大成でもあり、はじまりでもあります。

【くりはらのアート展「みつける/つなげる」】

- 期間：11月5日(土)～11月27日(日)
期間中の金・土・日曜日11:00～16:00
- 場所：風の沢ミュージアム(栗原市一迫片子沢外の沢11)
- 企画・運営：NPO法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局
- 連絡先：担当：武田
TEL：070-5328-4208
E-mail：soup@ableart.org

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員(2016.10.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 102名

<仙台市> ●大西直樹 ●小島正美
<岩沼市> ●最上暁

会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口 3,000円
賛助会員NPO	一口 5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

10月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

声掛け支援ボランティア募集

さをり織りでの製品づくりを主とする就労継続支援B型事業所において、利用者への声掛け支援を行うボランティアを募集しています。希望の曜日と時間をご相談ください。

- 日 時：月・火・水・金 10:45～15:15
木・土 10:45～13:15
- 場 所：仙台市宮城野区萩野町1丁目22-10
- 内 容：仙台市宮城野区の「工房すぴか」(就労継続支援B型)において利用者(10名程度)への声掛け支援
- 交 通 費：支給なし
- 申込方法：下記申込先にTEL・E-mailでご連絡ください。
- 応募主体：NPO法人煌の会
- 連 絡 先：担当：竹樋(たけひ) 千983-0043
仙台市宮城野区萩野町1丁目22-10
TEL：080-6775-1892 FAX：022-781-5472
E-mail：p3@sociovisio.com
※対応可能な日時 月～土曜日10:00～18:00

仙台敬老奉仕会 寄り添いボランティア募集

「誰かの役に立ちたい」そう思っている貴方。私たちとともに特別養護老人ホームで、寄り添いボランティアをしてみませんか。

- 活動日時：毎週1回2時間、午前または午後に訪問。
- 活動場所：現在、仙台市内にある12ヶ所の施設。
- 活動内容：特別養護老人ホームにいらっしゃる利用者さんとの交流、寄り添い、見守り活動。
※まずは研修会で学んだ後、ボランティアとして活動いただきます。
- 対 象：相手を大事にし、相手のペースを尊重できる方。訪問施設のルールを遵守できる方。

- 交 通 費：支給有
- 申込方法：下記連絡先までお問合せください。
- 募集主体：NPO法人仙台敬老奉仕会
- 連 絡 先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-5-18
大熊ビル3階 302号室
TEL/FAX：022-725-7284
E-mail：sendaikeirou@yahoo.co.jp

お知らせ

「S-1グランプリ 第4回 いがす大賞」 地方創生・新しい総合事業 大見本市 出場者募集

この大会では、地域のいがす(活かす・イカしてる)取り組みを募集し、発表することによって、住民が支え合う地域活動がひとつの地域だけにとどまらず、多くの地域に広まることを目指しています。

【応募】

- 応募締切：12月2日(金)
- 表 彰：大賞 10万円+副賞、準大賞 3万円+副賞
活動提案賞3万円+副賞
- 応募対象：助け合い活動、生きがい仕事、各種の被災者支援員による取り組み等(詳細は下記URL参照)
- 応募方法：応募用紙を下記URLからダウンロードし、応募書類を事務局まで郵送。

【本選審査会/一般公開】

- 日 時：2017年2月26日(日)
- 場 所：せんだいメディアテーク(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参 加 費：一般観覧無料
- 申込方法：事前申込み不要、直接会場までお越しください。

【共通事項】

- 主 催：「S-1グランプリ第4回いがす大賞」実行委員会事務局

平成28年度仙台市NPO法人組織基盤安定化事業

NPO法人運営力向上セミナー

一組織の基盤を整える7つのこと

NPO法人の組織運営力の向上を目的とした様々なセミナーと専門家による相談会を開催します。広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう!

【主催】認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市

お問合せ 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

仙台市宮城野区榴岡3-11-6コーポラス島田B6 ●TEL:022-791-9323 ●FAX:022-791-9327
●E-mail:npo@yururu.com ●URL:https://www.yururu.com/

11月のセミナー

11/18(金) 組織を成長させるための助成金活用セミナー

【講 師】山田 泰久(NPO法人CANPANセンター 代表理事)
【開催日時】11月18日(金) 13:30～16:30
【定 員】20団体 【参加費】1,000円(税込)
【会 場】仙台市市民活動サポートセンター研修室5

11/25(金) がっちり基本!NPO会計1日型セミナー

【午前の部】初級編 【午後の部】中級編
会計の流れや証憑書、帳簿のつけ方、事業費と管理費について、減価償却、勘定科目の設定、複式簿記の考え方、決算にむけての会計業務 など
基本的な仕組みについて など
【講 師】小野 恵子(会計サポーター)
【開催日時】11月25日(金)初級/10:00～12:00 中級/13:00～16:00
【定 員】20団体 【参加費】1日1,800円(税込)、テキスト付き
【持ち物】蛍光ペン2色、電卓 (午前のみ1,000円、午後のみ1,200円)
【会 場】仙台市市民活動サポートセンター研修室5

12月のセミナー

12/12(月) しっかり基本!NPO法人に関わる税金のイロハ

【講 師】田中 武司(税理士) 【開催日時】12月12日(月)14:00～16:00
【定 員】20団体 【参加費】800円(税込)
【会 場】仙台市情報・産業プラザ 情報化研修室(AER5階)



「月刊杜の伝言板ゆるる」 発刊20周年を 応援してください!

クラウドファンディング

READYFOR

に挑戦しています!



「月刊杜の伝言板ゆるる」は、来年5月で20周年を迎えます。これまで、多様な活動をする市民活動団体の紹介を続け、震災の時も休まず発行を続けてきました。

今回、創刊20周年号に向けて、継続して発行していくために寄付を呼び掛けるとともに、情報誌を読んでいただいた皆様からの「これまで」の声と、今後の発行に向けての「これから」の声をお聞きしたい!と「READYFOR」にチャレンジしています。

「月刊杜の伝言板ゆるる」が新たな道を歩むために、多くの皆さまからのメッセージと応援をお待ちしています!

READYFOR

創刊20周年! NPOを応援する
市民活動情報誌を継続発刊したい

【目標金額】400,000円

【期 間】2016年10月17日(月)~11月16日(水)

【U R L】<https://readyfor.jp/projects/yururu>

※杜の伝言板ゆるるは「認定NPO法人」です。
ご寄付をいただいた皆様には、税制上の優遇措置が受けられます。

みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム

市民社会への創造 未来を拓くNPOであるために

NPOがさらに成長し、成果を上げ続けるために取り組むべきことは何か。

みやぎNPOプラザは平成13年4月に開館し、今年で15周年を迎えました。

この15年間で、高齢化や少子化、過疎化の進行に加え、所得格差の拡大や雇用の流動化などで、社会の課題は一層複雑化しています。さらに、東日本大震災をはじめとする自然災害が、このような情勢に拍車をかけました。開館15周年の節目に、これらの社会課題に向きあってきたNPOや市民活動団体の成果を振り返り、未来を拓くNPOであるために、これからどうあるべきかを考えます。

◎コーディネーター 大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長/認定NPO法人杜の伝言板ゆるるの代表理事)

日時 ▶ 11月26日(土) 13:00-17:00
(受付・開場 12:30) ※交流会 17:10-18:00

会場 ▶ みやぎNPOプラザ

参加費 ▶ 無料(交流会 500円)

対象 ▶ NPOや市民活動団体のメンバー、NPOに関心のある市民や行政、企業の方

定員 ▶ 定員 60名(各分科会 20名)

申込方法 ▶ ご参加希望の分科会(第1希望、第2希望)と交流会へのご参加希望の有無をみやぎNPOプラザまでTEL・メールでご連絡ください。

申込先連絡先 ▶ みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

分科会テーマ

- ▶ **A:NPOの資金の現状**
事例発表者 多賀俊二さん
(中小企業診断士/草の根金融研究所「くさの一ね」代表/准認定ファンドレイザー)
- ▶ **B:NPOと世代交代**
事例発表者 新田英理子さん
(認定NPO法人日本NPOセンター事務局長)
- ▶ **C:NPOで働くということ**
事例発表者 青木ユカリさん
(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
常務理事・事務局長/
コミュニティ・ワークス代表)

